

今日もたべた？本ごはん

めざせ目標冊数！

とうごうしょうがっこう とうしょかん へいせい ねんど がっこう
東郷小学校 図書館だより 平成25年度 11月号



きく かお しもつき 菊の香りただよう霜月



がつなのか りつとう ひ ひかり よわ ひぐ はや くうき
11月7日は「立冬」です。陽の光がいちだんと弱く、日暮れも早くなり、空気

つめ ふゆ けはい かん ひ りっしゅん ぜんじつ ふゆ
の冷たさに冬の気配を感じるころです。この日から立春の前日までが冬とされて

りつとう ふ つめ きょうふう こが てんきよ
います。立冬のころに吹く冷たい強風を「木枯らし」といいます。もうすぐ天気予

ほう こが ごう き
報で「木枯らし1号」ということばが聞こえてくるはずですよ。

がつ どくしょげっかん ひと としよしつ りよう
さて、10月は「読書月間」でした。いつもよりたくさんの方が図書室を利用し

ががつ だい しゅうめ うんどうかい れんしゅう ほん か
てくれましたが、10月の第1週目は運動会の練習で、あまり本を借りられなか

ひと ことし とくべつ すこ どくしょげっかん
ったという人もいるかもしれませんね。そこで、今年は特別に少しだけ「読書月間」

えんちよう がつようか まいにち つづ もくひようさつすう
を延長します！11月8日まで「毎日2さつデー」を続けますので、目標冊数

めざして、たくさんの本を読みましょう♪



お知らせ 11月の図書室お休みの日：毎週火曜日と13・20・29日

☆今月のスペシャルデーは28日！4さつ借りられます☆



うた 11月の詩

いかつい くちばしがつぶやいてる

やがて父親となるふくろうの

きのこなんかもひかるだろう

ぼうつとひかるだろう

森がそこだけ

くわえたりしてあそぶだろう

ころがしたり

上につてゆうらりゆれたり

赤い三日月をとつてやろう

生まれてくる子には

ふくろうはかんがえる

くらい森をみはりながら

いかつい くちばしを おねふかくさしいれ

三日月

松谷 みよ子

ブックリストと「もう1さつかりられます券」のつかい方



★ブックリストについて★

- ① 5さつ読むごとに「もう1さつかりられます券」がもらえます。
- ② ブックリストの本は借りに読んでください。
- ③ ブックリストは2学期までつかえます。
- ④ ブックリストの本を5さつ読んだ人から、ひとり1枚「しおり」をプレゼントします。
- ⑤ 「もう1さつかりられます券」と「しおり」は、1時間目と3時間目の休み時間にわたします。

★「もう1さつかりられます券」のつかい方★

- ① 1回で2枚までつかえます。
- ② 「4さつデー」の日にはつかえません。
(ただし、夏休みと冬休みはつかえます。)
- ③ 3学期までつかえます。



11月 今月のいいね!

11月11日 “世界平和記念日”

1914年7月28日にオーストリアがサラエボに宣戦布告し、ドイツ、オーストリア、トルコなどの同盟国側と、イギリス、フランス、ロシア帝国、アメリカ合衆国、日本などの連合国側とのあいだで、世界中を巻き込んだ第一次世界大戦が起きました。合計すると約850万人の死者を出したといわれています。1918年11月11日にドイツと連合国側が休戦協定に調印し終わりをむかえました。それを記念して、平和を願い、11月11日が“世界平和記念日”と決められました。

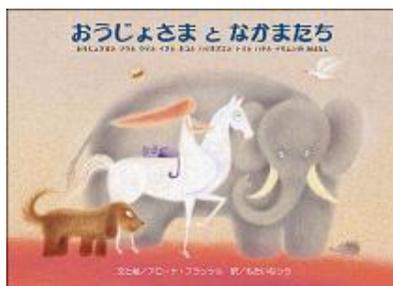
★今月は平和を考える本を紹介します★

1きつめ!

「もう いいでしょ」そのひとことで……

『おうじよさまとなかまたち』

文と絵 アローナ・フランケル 訳 もたいなつう すずき出版



食いしんぼうの小さなイモムシは、だれかにいじめられるたびにお腹いっぱいになって、どんどん大きくなっていきました。おだやかで自信に満ちたおうじよさまは、怪物になったイモムシに立ち向かい……。イスラエルの作家がおくる、愛と平和の絵本です。

2きつめ!

へいわ 平和ってどんなこと??

『へいわって どんなこと?』

浜田桂子 童心社



へいわってどんなこと?
「きつとね、へいわってこんなこと。せんそうをしない。ばくだんなんかおとさない。いえやまちをはかいしない。…」
いろいろなことから平和を考えます。

3きつめ!

戦争の陰に隠された、小さいのちの奇跡一。

『エリカ 奇跡のいのち』

ルース・ボンダ - ジ - 文 ハルト・インフエンティ 絵 講談社



お母さまは、じぶんは「死」にむかいながら、わたしを「生」にむかってなげたのです。

第2次世界大戦中のドイツで奇跡的に生きのびた、ひとりの女性の物語。衝撃的な実話をもとに、戦争を考える絵本です。

4きつめ!

決して忘れてはいけない戦争と原爆の記憶

『はだしのゲン わたしの遺書』

中沢啓治 朝日学生新聞社



原爆で父、姉、弟、妹を亡くした青年は、母の死をきっかけに戦争責任と原爆の問題に向き合う…。

白内障で漫画家を引退し、肺がんをわずらう「はだしのゲン」の著者が、原爆の怖さと不屈の半生を、実体験をもとに語りつくす。

5きつめ!

福島事故を受け、1988年発行の本を緊急復刊

『あしたは晴れた空の下で ほくたちのチェルノブイリ』

中澤晶子 作 小林ゆき子 絵 汐文社



1986年、チェルノブイリで起こった史上最悪とされる原子力発電所の事故。放射能の恐怖は世界に広がっていく…。

ドイツに住む、日本人の少年・トオルがみたものとは?

